

取組名	周防子どもみまもり隊や保護者との「安全・安心マップづくり」		
特徴	地域の見守り隊や保護者と協働しながら、校区内の危険箇所の見回り、確認を行い、安全・安心マップにまとめる。		
学校名	光市立周防小学校	期日	平成30年6月6日（水）

1 ねらい

- 教職員、保護者、周防子どもみまもり隊が、児童と一緒に通学路の安全点検を行い、要注意箇所や安全な場所を把握することを通して、学校・家庭・地域が連携して、児童の登下校時の安全確認をする。
- 児童が自分たちで通学路安全マップを作成し、実際に通学路の危険箇所や安全な場所を点検することを通して、安全に登下校できるようにする。
- 周防子どもみまもり隊や交通安全指導員の方としっかり話し、感謝の気持ちを表す会も合わせて行うことで、日頃お世話になっている人々への感謝の気持ちやふるさとへの思いをもつことができるようにする。

2 概要

(1) 通学路安全マップづくりの事前準備

- ・保護者に、「通学路の安全の確認について」というプリントを配付し、通学路で気になるところはないかアンケートを採る。
- ・子どもには、毎日の行き帰りで困るところはないか見付けておくように伝えておく。

(2) 通学路安全マップづくり

13:30～13:50

- ・周防子どもみまもり隊の方や交通安全指導員の方に児童も自己紹介を行い、日頃の様子や困っていること、注意したらよいことなどを情報交換する。
- ・地区ごとの小さなマップを見ながら、登校班ごとに話し合いをする。
- ・通学路をなぞり、危険箇所に印を付けて、危険なことや内容を付箋に書き込む。
- ・地区ごとの大マップに、危険なことの内容を書いた付箋を貼り付け、その場所を、マップ上に分かりやすく示す。
- ・登校班ごとに、危険箇所を発表し合い、みんなで把握できるようにし、子供110番の家も確認する。

13:50～14:05

- ・周防子どもみまもり隊への感謝の集い

(3) 一斉下校の会及び、安全確認下校

14:15～14:20

- ・通学路の危険箇所を確認しながら下校する。
(児童・教職員・保護者・周防子どもみまもり隊)
- ・話し合いで出た意見を中心に、実際の場所を確認し、対策を話し合いながら下校する。
- ・下校時に写真を撮って、マップに示せるようにする。

3 成果と課題等

子どもたち自身が、通学路の危険箇所について、改めて確認することができたので、次の日から気を付けることが具体的になり、とても有意義だった。

保護者や子どもたちが地域の方と直接話したので、互いに顔の見える関係をつくることができ、より安心感をもって過ごすことができるようになった。

地域の方と危険箇所を見て回ることで、地域の安全のために環境改善をしたほうがよいところは、早速、地域活動に取り入れたり働きかけをしてくださったりした。実際改善されたところもたくさんある。今後は、保護者が参加しやすい方法を考えていくことが課題である。

